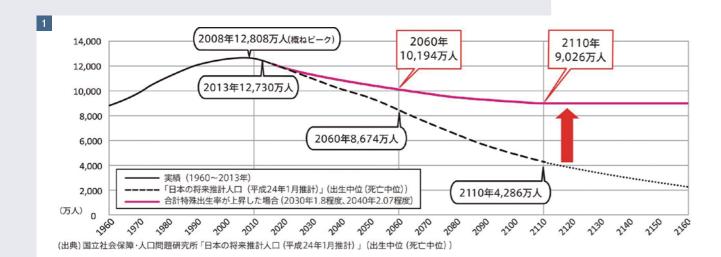
## 地方創生と学 地域を育む土木の「知」と「人」―

Regional Revitalization and the Role of Academia -Knowledge and People of Civil Engineering for Building Local Communities

特集担当主查:松本茂

特集企画担当:浅田拓海、佐藤正己、中村公一、山中亮一





1 わが国の人口の推移と長期的な見通し(出典:まち・ひと・ しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」、内閣官房まち・ひと・ しごと創生本部事務局) 2 室蘭工業大学: 地域社会概論 の様子 3 岐阜大学:橋梁点検診断実習の様子



携の事例を、お伝えしたい。

まさに取組みが進められている地域連

氏、徳島大学の中野晋氏、 組みをご紹介いただいた。続いて、学 ルタントの辻堂史子氏に具体的な取 ら防災に関する取組みをご紹介いた からの事例として、香川大学の白木渡 て綾部市の酒井貴弘氏と民間コンサ 南洋之氏、豊橋市の木村邦久氏、そし 上業高等専門学校の玉田和也氏から 九州大学の三谷泰浩氏か

取組みが進められ、さまざまな立場の

木分野においても、

地域創生を支える

本特集を通して、全国の大学等の

氏、徳島大学の澤田俊明氏からはまち

くりに関する取組みをご紹介いた

はインフラ管理に関する取組みをご

口大学の進士正

では地域バランスに配慮しながらり

みが進められているため、

の際の参考になれば幸いである。

なお、地域連携は全国で多数の取組

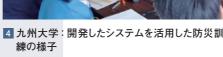
今後の地域連携の継続や、新たな参画 ことを再認識していただくとともに、 関係者がさまざまな形で参画している

的に携わっている現場の方々から生の 野の地域連携について、各立場で直接 声をいただいた。読者の皆様に、現在

学の那須守氏と木幡行宏氏に、大学等 的に地域連携に取り組む室蘭工業大 万公共団体の事例として、 する記事をまとめている。はじめに地 てご解説いただいた。次に、事例に関 景や必要性などについて、事例を交え まず、巻頭インタビューでは、 機関が地域連携を行う背 栃木県の印

携に関する共通の質問をし、 などをまとめている。 ても論じていただいた。そして特集 として、地域連携の課題や展望につ

だいた。なお、澤田氏には特集の総括



豊かな魅力ある地域社会(まち)、人材 確保 (ひと)、多様な就労機会の創出 偏在も進んでいる。このような背景の 機として、若い世代の地方から東京圏 める老齢人口の割合)は上昇してい、 ると予測され、高齢化率 (総人口に占 る一方、 老年人口 (65歳~) は増加す もと、「まち・ひと・しごと創生法」が ものと見込まれている。また、大学等 人口減少過程に入った。 の人口移動が続き、人口の地域的な の進学や大学卒業後の就職などを契 億2808万人をピー わが国の総人口は、 (15~4歳)が減少の一途をたど 4年11月成立、交付・施 や生産年齢

方創生」をとらえてみた。大学等の 本特集では、「学」に焦点を当て、「地

提供や学術研究の振興など地域社会の の拠点大学による地方創生推進事業 全国の大学等で取り組まれている「地 ている。たとえば、20 はこの大学等の活動を「地域連携」と 会と連携した継続的な活動(本特集で 割を担ってきた大学等の「学」におい 知的・文化的拠点として中心的な役 の実現に向けた取組みを進めている。 て挙げられよう。 地域の特性を生かし 地域の公共利益のために地域社 5年度から始まった「地(知) 拠点整備事業(C +)」は、地域連携の を進め、「地方創生」を支援し 地域における高等教育機会の 13年度から

The population of Japan entered a long-term period of decline after reaching its peak of 128.08 million in 2008. It is predicted that the young population (younger than 15) and the working age population (aged 15-64) will decrease and the elderly population (older than 64) will increase. In addition, the movement of the younger generation from local regions to the Tokyo metropolitan area will continue, and the uneven distribution of the population among regions will increase.

Due to these trends, local governments are engaging in regional revitalization efforts to develop attractive local communities with unique characteristics. In addition, academia as the intellectual and cultural center of these local communities, is providing strong support for these efforts through the collaboration with

This special issue intends to promote efforts toward further regional revitalization by presenting existing examples of regional collaboration between local communities and the civil engineering departments of universities nationwide.

7 土木学会誌 Vol.101 No.12 December 2016